

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第4区分
 【発行日】令和6年8月26日(2024.8.26)

【公開番号】特開2023-126018(P2023-126018A)
 【公開日】令和5年9月7日(2023.9.7)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-169
 【出願番号】特願2022-30441(P2022-30441)
 【国際特許分類】

H 0 2 J 5 0 / 7 0 (2 0 1 6 . 0 1)

10

H 0 2 J 5 0 / 4 0 (2 0 1 6 . 0 1)

H 0 2 J 7 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

B 6 0 L 5 3 / 1 2 (2 0 1 9 . 0 1)

B 6 0 M 7 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

H 0 2 J 5 0 / 7 0

H 0 2 J 5 0 / 4 0

H 0 2 J 7 / 0 0 P

H 0 2 J 7 / 0 0 3 0 1 D

B 6 0 L 5 3 / 1 2

20

B 6 0 M 7 / 0 0 X

【手続補正書】

【提出日】令和6年8月14日(2024.8.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項1】

送電コイルから移動体が備える受電コイルに非接触で電力を伝送する非接触給電装置であって、

前記送電コイル及び前記受電コイルの少なくとも一方は、水平に隣接配置された一対のコイルと、前記一対のコイルが発生する磁界を誘導する一対のコアと、を備え、前記一対のコイルは、水平面内で巻回された形状を有し、発生する磁界の向きが互いに逆方向になるように構成され、前記一対のコアは、前記一対のコイルと一体に構成されている、非接触給電装置。

【請求項2】

前記一対のコイルは、前記移動体の進行方向に沿って間隔を空けて複数配置され、前記移動体の進行方向に直交する方向に沿って水平に隣接配置されている、請求項1に記載の非接触給電装置。

40